

経済財政運営と改革の基本方針 2024(原案)

(歯科関連部分を抜粋しました)

昨日6月11日(火)に、経済財政運営と改革の基本方針2024(いわゆる骨太の方針)の原案が発表されました。順調に進めば6月21日(金)に閣議決定の見通しとの報道もされており、注目が集まります。「歯科」に関わる部分をピックアップし、前年から拡充した部分をマークアップしましたのでご参考ください。

「国民皆歯科検診」が「2022 具体的な検討」→「2023 取組の推進」→「2024 具体的な取組の推進」と更に一歩進んだ表現となった他、「全身の健康と口腔の健康に関する科学的根拠の集積・活用」から「集積」文言がなくなり、「活用」に重きをおいた表現に変わっています。

また、「有効性・安全性が認められた新技術・新材料の保険導入を推進」という文言も新たに加わり、昨年12月にPEEK冠、今年6月にCAD/CAMインレー光学印象が保険収載となりましたが、「有効性・安全性が認められた新技術・新材料の保険導入を推進」との表現の追加で今後の保険導入動向も気になります。下記のような注目事項が掲載されています。日本政府として大きな方向性を示す「骨太の方針」をじっくりと確認し、今後の歯科医院様・歯科技工所様の方向性を考えてみては如何でしょうか？

<経済財政運営と改革の基本方針 2024 原案 歯科関連箇所抜粋>

全身の健康と口腔の健康に関する科学的根拠の活用と国民への適切な情報提供、生涯を通じた歯科健診(いわゆる国民皆歯科健診)に向けた**具体的な**取組の推進、オーラルフレイル対策・疾病の重症化予防につながる歯科専門職による口腔健康管理の充実、歯科医療機関・医歯薬連携を始めとする多職種間の連携、歯科衛生士・歯科技工士等の人材確保の必要性を踏まえた対応、歯科領域におけるICTの活用の推進、**各分野等における歯科医師の適切な配置の推進**により、歯科保健医療提供体制の構築と強化に取り組むとともに、**有効性・安全性が認められた新技術・新材料の保険導入を推進**する。

↑

<経済財政運営と改革の基本方針 2023 歯科関連箇所抜粋>

リハビリテーション、栄養管理及び口腔管理の連携・推進を図る。全身の健康と口腔の健康に関する科学的根拠の**集積・活用**と国民への適切な情報提供、生涯を通じた歯科健診(いわゆる国民皆歯科健診)に向けた**取組の推進**、オーラルフレイル対策・疾病の重症化予防につながる歯科専門職による口腔健康管理の充実、歯科医療機関・医科歯科連携を始めとする関係職種間・関係機関間の連携、歯科衛生士・歯科技工士等の人材確保の**必要性を踏まえた対応**、歯科技工を含む歯科領域におけるICTの活用を推進し、歯科保健医療提供体制の構築と強化に取り組む。また、市場価格に左右されない歯科用材料の導入を推進する。

また、今週末6月16日(日)開催のシラネデンタルフェア(@吹上、入場無料)では、骨太の方針2024に対応し、医院様の将来を考えていくためにも有用な様々な機会を設けております。ぜひ、ご来場ください。

<経済財政運営と改革の基本方針2024 原案 歯科関連抜粋箇所青字>

◎全身の健康と口腔の健康に関する科学的根拠の活用と国民への適切な情報提供、

→A「健口が健康寿命を伸ばすわけ」を科学的根拠も交えて天野敦雄先生にご講演頂きます。また、D2「DH 目線での糖尿病アプローチの基本」(村上遥先生)、D5「OSAS(閉塞性睡眠時無呼吸症)における歯科医師が果たすべき役割(山崎正子先生)など、最新の知見や科学的根拠も改めて学び、患者さんを中心とした「国民への適切な情報提供」の糧にご活用ください。

◎生涯を通じた歯科健診(いわゆる国民皆歯科健診)に向けた具体的な取組の推進、

→今週末6月16日(日)のシラネデンタルフェアでは、A「健口が健康寿命を伸ばすわけ」を科学的根拠も交えて天野敦雄先生にご講演頂くほか、B「メンテナンス患者月間1300人が来院する歯科医院が実践する患者とスタッフへの行動変容術」を森昭先生、吉岡沙樹先生にご講演頂きます。また、C「感じのよい歯科医院」が実践する4つのホスピタリティ」を柳沢可奈先生にご講演頂きます。「国民皆歯科検診」がどうなるかはわかりませんが、「予防歯科」「定期来院」を促すことができる仕組みを学んでみては如何でしょうか？

◎オーラルフレイル対策・疾病の重症化予防につながる歯科専門職による口腔健康管理の充実、

→「予防」につながる各種製品や、口腔機能低下症・口腔発達不全症関連の各種製品を展示し、出展メーカー様から直接詳しいお話もお聞き頂けます。

◎歯科医療機関・医歯薬連携を始めとする多職種間の連携、

歯科衛生士・歯科技工士等の人材確保の必要性を踏まえた対応、

歯科領域におけるICTの活用の推進、**各分野等における歯科医師の適切な配置の推進**により、**歯科保健医療提供体制の構築と強化に取り組むとともに、有効性・安全性が認められた新技術・新材料の保険導入を推進する。**

→人材確保/生産性向上などのために、自動精算機、予約システム、ウォッシャー・ディスインフェクターを導入される医院様も増えています。また、ICTの活用や、有効性・安全性が認められた新技術・新材料の保険導入という点では、90社と多くの企業が展示をするシラネデンタルフェアで、様々な最新機器や保険収載機器/材料などをぜひご覧ください。

ICTや有効性・安全性が認められた新技術・新材料は、是非とも「最新」を今週末6月16日(日)シラネデンタルフェアでご覧頂けましたら幸いです。

国全体の大きな方向性を示す「骨太の方針」も参考にしながら、今後の歯科医院様、病院様、歯科技工所様の運営の方向性を考える一つの機会となれば幸いです。

人々の健康と笑顔に寄与することを目指して！

株式会社シラネ